

森  
木  
が  
あ  
り

Imagin 21

「イマジン21」第17号 / 平成20年6月1日発行 (年2回 春秋発行)

樹  
が  
育  
ち

- リレー連載 世界遺産 奈良の風景 ②
- Essay 印刷文化逍遙 ⑬
- 特集 裁判員制度
- まちかど 探索 大阪探索 (法善寺横丁)
- 特集 大和の酒蔵めぐり ⑤
- 奈良の 伝統工芸 鹿角細工
- 報告 ユニバーサルデザイン
- 唐招提寺 (金堂平成大修理)
- バタフライマーク

そして

東京へ出張して奈良の事を話す時、「奈良へ行くのにはどうして行くのがベストですか...」とよく訊かれます。その時、近鉄利用の場合必ず西大寺駅の名前を付して説明することになっています。私自身も「近鉄」に乗りかえて西大寺駅に到着した時、やっと奈良へ戻ったのだと実感してきました。それは、現在も、これからも変わらない「安堵感」であります。

平城遷都1300年記念事業の主舞台を近鉄電車が走っている事を、意外と知らない人も多いのではないのでしょうか...。巻頭の三木理史先生の文章は是非読んでいただきたいおすすめの記事であります。

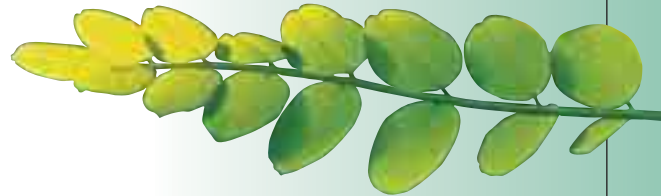
2010年には、奈良平城京が誕生して1300年を迎えますが、「関西屈指のジャンクション、大和西大寺駅」をお読みいただければ、1300年と現在を重なりあわす事ができること請け合いです。

代表取締役社長 近東 宏光

# Imagin21

## わたしたちができる環境づくり

自然との共存を図りながら  
限りある資源を大切に使い環境を守っていく  
私たちは時代に役立つ企業であり続けたいと考えます



編集 / 制作 / 発行

共同精版印刷株式会社

本社：〒630-8013 奈良市三條大路2丁目2-6  
TEL 0742-33-1221 FAX 0742-33-7035  
大阪支社：〒542-0082 大阪市中央区島之内1丁目12-3  
TEL 06-6271-7951 FAX 06-6271-7954  
東京支社：〒116-0014 東京都荒川区東日暮里5丁目6-4  
TEL 03-3802-4741 FAX 03-3802-4740

本誌に対するご感想、ご要望などがございましたら、上記本社内「イマジン21」編集部までお寄せください。

世界遺産

リレー連載

# 奈良の風景

関西屈指のジャンクション・  
近鉄大和西大寺駅

2



大和西大寺駅構内

## 幻の大寺

古くは「シンデレラ・エクスプレス」、最近では「そうだ京都、行こう。」など、数々の国民的キャッチコピーを送り出してきたJR東海の最新の奈良観光向けコピーが「幻の大寺＝西大寺」だ。東京メトロ（地下鉄）で一分の吊広告すべてが西大寺という車両に乗り合わせた際、思わず場所を錯覚したほどの力の入れようである。東大寺を知らない人は少ないが、対応する西大寺の存在を意識する人も意外に少ないのではないかと。新たな奈良観光の掘り起こしとして卓見ではあるだろう。

奈良といえば古代のロマン、という呪縛にとらわれる限りは無縁であろうが、奈良の鉄道に目を向けてみると、西大寺と東大寺の地位は逆転する。残念ながら、東大寺を冠する駅名は県内に古今共に存在せず、せいぜい往年の関西鉄道線（通称・大仏線）に大仏駅があった程度である。ところが、「幻の大寺」の門前には、れっきとした大和西大寺駅（以下、西大寺駅）があり、しかも開業は一九一四（大正三）年四

月だから、間もなく一〇〇年になる長い歴史をもつ。

同駅は、近畿日本鉄道(以下、近鉄)の奈良、橿原、京都の三線が離合し、構内に三つのホームと五本の線路がある。その全列車が停車し、一日約五万四千人(二〇〇五年)の県内屈指の乗降客数を誇る。

その西大寺駅は、近鉄の前身である大阪電気軌道(以下、大軌)の発祥である上本町―奈良間の開業とともに生まれた。いわば近鉄創業の地でもある。もちろん、開業時は分岐路線もなく、周囲は盆地の田畑広がるなかに集落が点在するのみであった(図1-a)。そして、その位置も現在より一五〇mほど南東寄り、まさに西大寺への参詣路との交差点にあつた。

大軌は、上本町―奈良間について畝傍線(現・橿原線)の建設に着手し、その分岐点を西大寺駅に求めた。畝傍線は、古代中津道に沿うほぼ南北経路で、それを当初の西大寺駅で既設線につなぐと、ほぼ直角で交わってし



西大寺本堂

まう。そのためか、駅は畝傍線の開業の一九二一年四月に西北への移設を余儀なくされた。さらにその開業による所要車両の増加を前に、一九二〇年一月に西大寺車庫を開設した(『大阪電気軌道株式会社三〇年史』)。しかし、その位置は、現在の橿原線に並行した秋篠川沿いの場所ではなく、奈良線に並行して設けられた(図1-b)。こうしてジャンクションに車庫を併設する西大寺駅付近の基本機能は、昭和を待たずに整った。昭和に入ると、一九二八(昭和三年)一月に京都から奈良電気鉄道(以下、奈良電)が路線を延長してきた。当初、同社は奈良市街までを自社で延長するつもりであつたらしいが、諸般の事情から西大寺で大軌に接続する路線とした。そして、西大寺駅は東西南北いずれにも路線の伸びる複雑な構造の駅になつたのである。

### 痛し痒しの

### 平城京

第二次世界大戦を経て高度経済成長期に突入すると、近鉄(近鉄は大軌を母体に一九四四年六月に成立)自

社系の学園前住宅開発などによつて、奈良線は急激な輸送量増加をみた。そこで、生駒トンネルに合わせた小型車では、押し寄せ

る大量の旅客を捌ききれなくなり、一九六四(昭和三九)年七月には現在の新生駒トンネルが完成して、一〇月から上本町―奈良間に現行の大型車が走りはじめた。同時に、長らく京阪電気鉄道との間で、主導権を争ってきた奈良電を、近鉄が合併して京都線とした。それを前に奈良線の中核を担う西大寺駅付近の改良工事が行われ、駅を再び一四〇m東方へ、奈良線と橿原線の分岐点も同様に二四〇m東方へ移設した。西大寺駅にとって二度目の大改良で、ほぼ現状になった。近鉄では、駅や路線の改良と併せて、当初から車庫の増築も計画していた。西大寺車庫は、開業時の小阪車庫(現在は廃止)が手狭で、大軌時代から重要性を高めており、その用地拡大が早くから求められてい



a 1916年頃



b 1955年頃



図1 西大寺駅周辺の新旧比較

出所:5万分1地形図「奈良」図幅を拡大

た。

近鉄では、当初西大寺駅の東方1kmの位置に奈良線と並行した構造での拡大を考えていた(近畿日本鉄道株式会社『最近二〇年のあゆみ』)。それは、車庫から西大寺駅へはもちろん、奈良駅へもそのまま入庫が可能で、効率的な車両の移動が可能であったからである。ところが、そこは平城宮跡の一部に掛かっていた。そこで、「遺跡保存の世論を尊重し」(『最近二〇年のあゆみ』)て、変更のうえ新設したのが現行の西大寺車庫である。古代のロマンにあやかっ

て旅客輸送を担う電鉄会社には、痛し痒しの選択であろう。

現行の位置がなぜ痛し痒しな



西大寺検車区

のか。それは、奈良駅方向への入庫車両が、必ず一旦西大寺駅に入線する必要のあるためだ。おまけに橿原線や京都線の分岐する同駅は、ただでさえ列車の出入りが多く、そこへさらに類繁な回送列車の出入は同駅の混雑を助長することになった。しかし、奈良観光のシンボルの一つである平城旧跡を破壊するよ

うな工事もできなかった。奈良、京都、橿原各線に車庫線を加えて、西大寺駅のポイントが複雑を極めた。関西私鉄では阪急電鉄淡路駅と並ぶ屈指の複雑なジャンクションになったのである。奈良で勤務していると、近鉄線は遅れが多いという話をよく耳にする。その少なからざる原因が、複雑な西大寺駅のジャンクションにあることは意外に知られていない。おまけに近鉄は、大軌の拡大経営によって、二府三県(大阪・京都・奈良・三重・愛知の各県、二〇〇七年までは岐阜県も)に路線を有し、それが「路線網」とよんで偽りないほど密に網状化した。そして、そこを横断、縦断しつつ長距離の特急列車が多数走っている。そのため、愛知県内で発生した人身事故によって、西大寺駅周辺での各線の列車が数珠つなぎになり、踏切が開かず状態になることもある。西大寺駅は、「幻の大寺」の門前にある近鉄の中核駅のみならず、その複雑



平城宮跡

な線路配置のために会社泣かせの駅でもある。平城宮跡の保存が交通路に影響した点は、イトーヨーカ堂西側の国道二四号のS字カーブも同様だが、古代のロマンにあやかるところゆえの痛し痒しも双方に共通している。かつて近鉄にも京都―大阪間や奈良―伊勢志摩間に直通特急が走っていたが、いずれも西大寺駅でのスイッチバックがネットワークの一つになって廃止された。西大寺駅を奈良の顔だと思う人は少ないだろうが、奈良盆地の要であることを考えれば、「奈良の風景」の一つに数えることは許されよう。それは、今日も「伊勢志摩ライナー」が西大寺駅で、そのスマートな車体をく

ねらせつつ、ポイントを渡ってゆく姿に象徴されている。



### 三木 理史

[みき まさふみ]

1965年大阪府生まれ。関西大学大学院文学研究科博士課程中退。

現在、奈良大学文学部准教授、博士(文学)。近鉄沿線に生まれ育ち、その路線網の形成過程を研究して博士号を取得した。2007年より近畿日本鉄道株式会社社史の編纂事業にも関係している。著書に『近代日本の地域交通体系』(大明堂)、『地域交通体系と局地鉄道―その史的展開―』(日本経済評論社)、『水之都と都市交通―大阪の二〇世紀―』(成山堂書店)、『近・現代交通史調査ハンドブック』(古今書院)など多数。



朱雀門を横ぎるアーバンライナーPLUS

## 美術工芸家

### ウイリアム・モリス

ウイリアム・モリス（一八三四―一九六）について知っている人はどれだけいるだろうか。わたしは最初に彼の名を知ったのは、寿岳文章という英文学者が書いた『本と英文学』（昭和三二・一、研究社）という本によってであった。

その後、小野二郎という人の『ウイリアム・モリス』（昭和四八・九、中公新書）に続き、同じ著者の『ウイリアム・モリス研究』（昭和六一・三、晶文社）、藤田治彦という人の『ウイリアム・モリスへの旅』（平成八・一〇、淡交社）などに巡りあい、少しずつではあるが文献的なものが集まってきた。そして、昨年の秋ごろだったろうか、ある古本屋さんで、雑誌「芸術新潮」の一九九七年六月号の特集「ウイリアム・モリスの装飾人生」を求めることができた。

言うておくが、私はとくにウイ

リアム・モリスの研究家でもなく、ただ自分が長い間、印刷の道歩んできた関係上、たまたま彼について興味を抱いたまでである。では、一体モリスとはどのような人物であろうか。まず、その辺からアプローチしてみたい。さきほどの「芸術新潮」には、谷田博幸のつぎのような記述がある。

ウイリアム・モリスが何者だったか、それはなかなか難しい質問です。装飾芸術の分野ですばらしい仕事を成した有能なる工芸デザイナーであり、詩人としても評価が高く、後年には社会主義者として大活躍する――そうした実に多彩な活動をした人ですし、その多彩さがモリスという男を複雑に見せてもいます。（後略）

とにかく紙幅の関係上、すべてを紹介するのは不可能であるが、写真やイラストがあつて、

エピソードもたくさん語られている。たとえば「モリスは非常に頑健強固な男です。でなければあれだけ多彩な活動は、まず成しえなかった。がっしりとして、しかもでっぷり太り気味の体格だったところが、残された写真からもわかります。身長五フィート六インチ、一六八センチメートル弱は現代では小柄だといえますが。」といったあたりは、その風貌を伝えるものとして、貴重なものであるということが出来る。

さて、肝腎の彼の印刷工芸家としての活躍を語らないと、本稿の目的から外れてしまうので、大いそぎで紹介をしよう。それは、この雑誌では「美しい本づくりに捧げた晩年」と題して書かれている。

ですからその本は、何よりも美しくなければならなかった。モリスがこれまで積み上げてきた経験と美意識を総合させて、本という小さなユートピアを構築しようとしたんです。美しい本をつくるために、モリスはさまざまなるルールを設定します。それらは彼の直観と模索から導き出されたものです。文字の読みやすさ、活字の美しさ、そしてマージン（余白）やスペーシング



のバランスがとても大事だとモリスは考えていました。どのスペースを一番せまくして、天、小口、地の順にマージン・スペースを二〇パーセントずつ広げていくという「ウイリアム・モリスの法則」は、出版に携わったことのある人ならよく知っているでしょう。（後略）

こうしたことは、印刷業者が考えなければならぬ問題であるが、そこは工芸家としてのモリスは、着眼点が並みの人とは違ったのである。写真によると印刷面は赤と黒の二色刷となっており、版面と余白のバランスがいかに芸術的で、当時としてはやはり型破りなものであった。このように、モリスの貢献は、版面と余白の関係、もう一つは新しい活字の書体にあつた。その活字に対するこだわりについて、小野二郎は、さきの『ウイリアム・モリス』の中で、つぎのようにのべている。

モリスの要求したことは、簡素地味であること、つまり無用の長物を排すること、つまがっしりしていること、つまり線を太くしたり細くしたりしないこと、横に押しつぶして扁平な字体にしないこととであった。こういう完全な実例を、十五世紀のヴェネチアの偉大な印刷者たち、とりわけニコラス・エンソンのブリニ『博物誌』に使用したローマ字体に見出した。この活字を拡大写真にとったり、自分で幾度も書いてみたりして入念に研究を重ねた末に、自身の字体の工夫にとりかかり、つくり上げたものをゴードン・タイプと名づけた。この活字を用いて最初に印刷されるはずの『聖徒伝』にちなんでのことである。

モリスの活字に対するこだわりがいかに強かったか、ここを讀んでみるとはつきりするが、何よりも、そこには工芸家としての美学が幸いしたとしかいい



ようがない。今日、わが国では、新聞・雑誌・書籍などのほとんどが明朝体を使用されているが、それはわれわれの眼にとつて、やわらかく、そして読み易いという利点があるからではないだろうか。その他の字体としては、見出しなどに使用される呉竹体、あとは葉書や挨拶状に使用される楷書体であろう。

ところで、同じ活字に対するモリスのエピソードとして、寿岳文章は『本と英文学』の中で、「書物工芸家としてのモリス」と題し、つぎのように語っている。

一八六六年(三十二才)に、彼は書きかけていた長篇『アースリー・パラダイス』のために特装版を計画し、すでにチック・プレスで見本刷りまでさせている。それを見ると、カスロンの古体活字とバーゼル活字とが用いられており、活字の美に対する眼が、徐々にではあるが、彼の心に覚めかかっているのが感じられる。大判の二折本とし、一頁を二欄に分け、バーンジョウンズの挿絵を華やかに入れ、当時一般の書物の体裁をぬきこんでるものであったらしい。挿絵のために五十個以上の木版が作られ、そのうちの約三十五個は、モリス自身の手で彫版されたが、モリスが相続した一つの投資事業が失敗し、そのためにバックスリ・ヒースの家も手離さねばならぬこ

ととなったので、残念にも計画は途中で消滅した。(後略)

人生というものは、なかなか思うようにはいかぬもので、その途次においては思わぬことがあるものだ。しかし、それを乗り越えるかどうかで、その人の人生はきまる。試練ととるかとならないかによって、大きく物事は転回するものである。

もともと才能の溢れているモリスのこと、人も見離さないし、天も捨てなかつたのであろう。その後、彼はケルムスコット・プレスを起こしつぎつぎと良書を出版する。さきの「芸術新潮」で、谷田博幸は、つぎのように書いている。

ケルムスコット・プレスで刊行する書目は、自分にとって大切な作品だけとモリスは決めていました。自著をはじめ、敬愛するチヨースーの作品集、トマス・モア、テニスン、シェイクスピアなど。モリスの生涯を決定づけたラスキンの『ゴシックの本質』ももちろん含まれています。ロセツテイの作品を三冊も出しているのは、モリスの人柄なんでしょう。結局、ケルムスコット・プレスからモリス没後に刊行されたものも含め、五十三点が世に出されました。

自分の最も好みの活字を使用し、敬愛する作家や詩人たちの作品を出版することは、印刷人

として当然のことであろう。話は変わるが、わが国で自分の本の造本に執著したのは、すでに本欄で紹介した作家の谷崎潤一郎くらいのものではないだろうか。『盲目物語』も凝っていたし、『鍵』は棟方志功の版画が函や文中に使用され、ちよつとした話題になったことを憶い出す。

このように、モリスが考案した印刷面の美学は一つの時代を画したが、それに対して、日本の書物はたしかに余白が少なく、版面が広すぎる。これはできるだけ文字を収録して、儲け主義に走っている書籍業界を象徴していないだろうか。そういえば近ごろ金子光晴の『戸解記』という版面より余白の多い本を古本屋で見ることがあるのだが……。



## 嘉瀬井 整夫

【かせい ただお】  
1934年京都市に生まれる。  
1949年より同94年まで印刷産業に従事。  
奈良県立短期大学(現奈良県立大学)卒業。

主著『井伏鱒二私論』  
『井伏鱒二とその時代』  
『奈良大和路文学散歩』ほか。  
文芸評論家。

# 09年5月21日「裁判員制度」スタート

## 裁判員制度

私たち国民が裁判に参加する制度

2009年(平成21年)5月21日に、「裁判員制度」が施行されます。今一度、この制度の基本的な概要と、その内容について検討してみます。

### ● 裁判員は「くじ」で選ばれる

毎年12月頃に、選挙権を持つ国民から「くじ」で選出した「裁判員候補者名簿」が作られます。調査票・呼出状・質問票といった書面を通して、「あきらかに辞退が認められる方」は名簿より削除されます。その後、候補者は裁判所にて裁判長から「選任手続き」として再度辞退等が確認され、残った方々の中から最終的に6人が「くじ」で選ばれます。

なお、正当な理由がないまま裁判所へ行かなければ、10万円以下の過料に処せられます。

### ● 裁判員制度は「地方裁判所(第一審)」のみ

高等裁判所や最高裁判所にて行われる第二審、第三審については、従来通り裁判官のみによって審理がなされます。

### ● 重大事件を審理

殺人強盗致死 傷害致死 危険運転致死 現住建物等放火 身代金目的誘拐 保護責任者遺棄致死といった、重大で罪が重い事件を審理することになります。

### ● 裁判は数日で

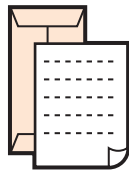
裁判員制度が適用されてからは、「数日間」で裁判が終わると見込まれています。これは、裁判官、検察官、弁護人によって事前に公判前整理手続きが行われ、あらかじめ事件の争点や使用する証拠品などが整理されるためといわれています。

なお、交通費と日当(一日一万円程度)が支払われます。



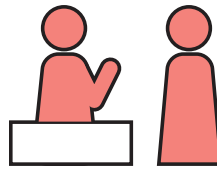
## 裁判員に呼ばれたら？

### 1 呼出状が届く



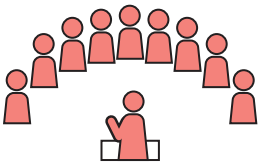
裁判所から候補者宛に呼出状が届きます。

### 2 選任手続



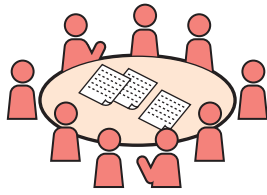
出頭した裁判員候補者から裁判員を選任します。

### 3 公判手続



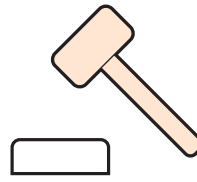
裁判員は審理に出頭し、証拠を見聞します。

### 4 評議・評決



議論して、判決の内容を決めます。

### 5 判決



判決は裁判員が立ち会い、裁判長が行います。

## ● 有罪・無罪の評決から量刑まで

裁判員は裁判官とともに公判の開始から終了まで立ち会うこととなります。証拠品の取調べの際、必要に応じて死体などの写真を見なくてはいけないこともあります。

証拠品の取調べ等の後、有罪か無罪かを評決します。もし有罪と決まれば、次に量刑についても評決します。そして、裁判官が判決を宣告したら、裁判員の仕事もそれで終了となります。

なお、裁判員には事件に関する守秘義務があり、これに違反した場合、刑罰が科せられることもあります。

## ★ 世論としての、メリット・デメリット

- ・ 裁判時間を短縮できる
- ・ 興味深い貴重な経験ができる
- ・ 法曹に対する国民の意識改革が期待できる
- ・ 司法が民主的基盤を得る第一歩の可能性
- ・ 一般人の考えが裁判の判決に反映される等
- ・ 半強制的な参加義務による、国民の負担
- ・ 世論やメディアによる感情論に流される
- ・ 被告人に顔を覚えられてしまう
- ・ 冤罪事件が増える（新証拠を検証できない等）
- ・ プライバシー保護の問題等

裁判員制度施行の三年後には、一旦「見直し」がなされる予定です。「見直し」が必要とされているような制度の中で、我々は人を裁いていくことになるのです。

### 参照

裁判員制度を考える (<http://match-biz.com/saiban/>)  
裁判員制度のメリット・デメリット

(<http://jp.meritdemerit.com/topic/11>)

# 法善寺横丁



織田作之助の小説「夫婦善哉」、藤島桓夫の演歌「月の法善寺横丁」で知られる法善寺横丁は石畳の、長さ80メートル、幅3メートルの2本の路地が東西に延びる狭い路地です。



浄土宗天竜山法善寺。江戸時代初期元上本町8丁目に開基され、寛永14年(1637)現在地に移転、その後空襲で本堂を焼失。現在は、金毘羅天皇・お初大神・そして「水掛不動」の愛称で親しまれている西向不動明王が祭られています。

どんな御利益も得られると信じられ、商売繁盛や家族の健康などを願って、今では日本だけでなく海外からも多くの参拝客が絶え間なく訪れています。



# 「夫婦善哉」は、創業明治十六年。

夫婦善哉のマスコット  
「お福人形(三代目)」



今を遡ること、百十年以上前。法善寺境内に、ちょっと変わった善哉屋が開店しました。文楽の太夫、竹本琴太夫こと「木文字(きもんじ)重兵衛」という人がはじめた「お福」という名のお店です。何が変わっていたかという、一人前なのに二杯のお椀に分けて善哉が出てきたからです。「へえー、こら変わつとる。なんで二つや」と聞かれると、実際にお

店を切り盛りしていた重兵衛の妻「こと」と娘「かめ」はニッコリ笑って、「おおきに。めおとでんね」と答えたといいます。実際は、二つのお椀に分けた方がたくさん入っているように見えると考えたからなのですが、これが大当たり。その後の「夫婦善哉」へと繋がっていったのです。

法善寺横丁は、大正期において、芝居や浄瑠璃の人気でわきたつ櫓町(今の道頓堀筋)の影響をうけ法善寺境内に飲食街として発展してきました。寄席囃子が流れるなか、酔客がそぞろ歩く往時の情趣は失われたとはいえ、今でも古い大阪を残す最も浪花情緒の溢れる一角。レジャービルの進出など取り巻く環境は急変しますが、打ち水で濡れた石畳が続く路地には、大阪の都心とは思えないしっとりした情緒を今も漂わせています。



## 株式会社 久保本家酒造

## 大和の酒蔵めぐり

「ひむがしの野に かぎろひのたつ見えて 返り  
見すれば 月かたぶきぬ」と柿本人麻呂が詠んだ、  
阿騎野（あきの）の里。  
今回は大宇陀にある久保本家酒造様を訪れました。



久保本家酒造様は松山伝統的建造物群保存地区内にあり、低い軒の家々が並ぶ通りに位置しております。かつてこの道は伊勢街道、熊野街道に通じる交通の要所で、明治時代になっても役所や裁判所がおかれるなど地域の中心として発展し、昭和四十年代まで賑わったという歴史があります。

この地で、造り酒屋として三百年、久保本家酒造様は元禄十五年に創業されました。久保家の先祖である久保勘兵衛が、吉野から大宇陀に移り、酒蔵を築いたのが始まりです。

大宇陀は水が豊かで気温差が激しいため、お酒の原料となる米づくりに適した土地です。取材日も奈良市内は晴れていたのですが、宇陀の辺りは雪が降っており一面の雪景色。気温もかなり低くとても寒かったです。お酒造りは発酵にポイントが

あります。お酒のできる過程は、米のデンプンをブドウ糖にかえ、ブドウ糖がアルコールに変わりお酒ができます。日本酒は糖化作用と発酵作用が同時に行われる珍しいお酒。しかし、その糖化作用と発酵作用のバランスが、難しく、かつ大切です。「醸は農なり」といい、米の質も大切ですが醸造の過程がさらに大切です。

「お酒を食事と合わせて」をモットーに、食事にあう美味しいお酒造りに日々励んでおられます。お酒を飲む場面やストーリーに合わせて提供したいと伺いました。そのため、お客様が飽きないよう自社ブランドのみ約八十種類の商品を持ち、時々季節限定商品を出すように工夫されています。また、お酒コーディネーターの方もいらつしやり、日々色々な飲み合わせを研究しておられます。



## 伝統的な日本酒製造技術

# 生酛造り

久保本家酒造様の一番の特徴は生酛造りです。

生酛造りとは天然の乳酸菌を取り込みながら、雑菌を駆除し純粋酵母を育てていく旧来の手法。明治後期までこの古法が用いられていました。雑菌を取り除いて酵母が発酵しアルコールを造り出す環境づくりを自然に任せている為、手間がかかり、また高度な技も必要な造り方です。

生酛で造られたお酒は、酵母菌が極めて厳しい環境で育てられる為、優れた者だけ生き残るので、完全発酵したお酒が出来上がります。



分析中です。



蔵内を見学中。



お米の発酵している音が聞こえてきます。

## お酒のコメント

(お酒コーディネーター 小森谷様より)

### ・初霞

初霞には、純米酒・生酛純米酒・純米吟醸・純米大吟醸の種類があり、昔から、愛されている定番の名前です。

### ・生酛のどぶ

昔ながらの生酛造りとどぶろく風の味わいを瓶の中に詰めました。

### ・睡籠

温故知新の風味は、お料理を選びません。熟成して美味しくなる酒造りをしたシリーズは、眠っている籠をイメージしています。開栓して籠を起す楽しみがあります。

### ・梅酒

生酛純米酒と木で完熟した梅と国産のはちみつで造りました。完熟梅の旨味を100%引き出した味わいです。

### ・おこぜ

「夏子の酒」「蔵人」の漫画家 尾瀬あきら氏の酒造界の四コマ漫画用のペンネーム 尾古瀬あきら氏自ら、もと摺りをした生酛純米酒です。



## 株式会社 久保本家酒造

〒633-2162奈良県宇陀市大宇陀区出新1834番地  
TEL0745-83-0036 FAX0745-83-3353



# 鹿角細工

太古より神の使いとされ人びとに神聖視される鹿。その角には霊力が宿ると言われています。今回の奈良・伝統工芸は、鹿の角細工を専業とされるハタリ源角堂様を訪ねさせていただきました。

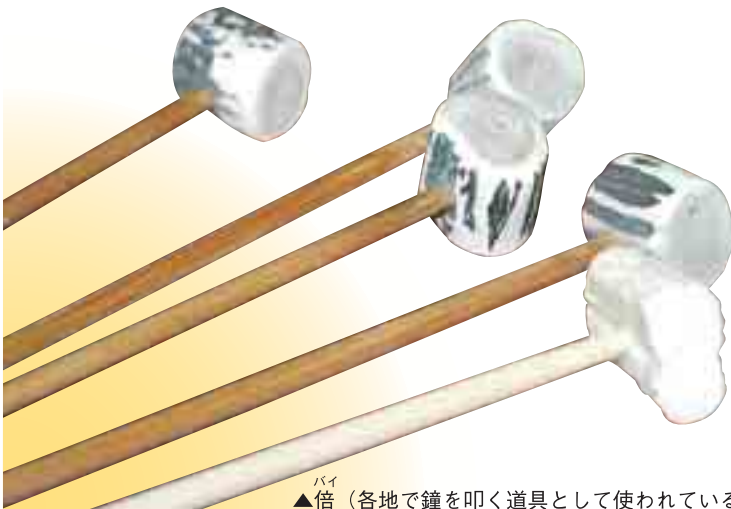


国宝・転害門より一条通りを西へ二〇〇メートルにハタリ源角堂（奈良市東包永町三六）があります。

鹿の角は、太古より神の使いとして神聖視され全国の神社と鹿のかかわりをもった説話も多くみうけられます。鹿が神に結びつけられる理由のもつとも大きなものは、角にあります。鹿の角は、毎年生え変わり春に袋角という柔らかかな角が芽生え次第に堅くなり春に脱落するとまた、新しく生まれ変わるという巡回をくりかえしています。

それは、草や稲が芽生えていく自然の摂理と同様です。こうした現象を古代人は、霊妙で神秘的なものにとらえられました。角の発育状態で農作物の豊凶を占う縁（よすが）ともなりました。

また、鹿の角は信仰的で力のシンボルでもありました。伊勢神宮の二十一年に一度の御遷宮に関する古文書に「鹿角を用いて弓柄となす」という一文があり現在も鹿角を加工して納められています。

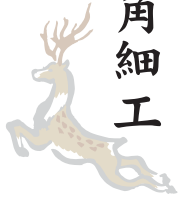


▲倍バイ（各地で鐘を叩く道具として使われている）



▲五重塔やバンビの角細工は人気のお土産

# 奈良の鹿角細工



奈良の鹿は、春日の神鹿として大切に保護され明治から第二次大戦で相当数減ったものの、国の天然記念物として大切に保護されています。現在、奈良公園には千頭余りの鹿がいます。寛文十一年（一六七二）に、時の奈良町奉行溝口豊前守により鹿の角きりが始まり、奈良の年中行事として毎年秋に「鹿の角きり」として人々の目を楽しませています。明治、大正、昭和の頃は、名産品としてパイプ、和裁のへら、箸、ステッキの握り等に人々に愛用されていたが、現在では奈良の風景を表した置物等が主流となっています。



▲各種の道具

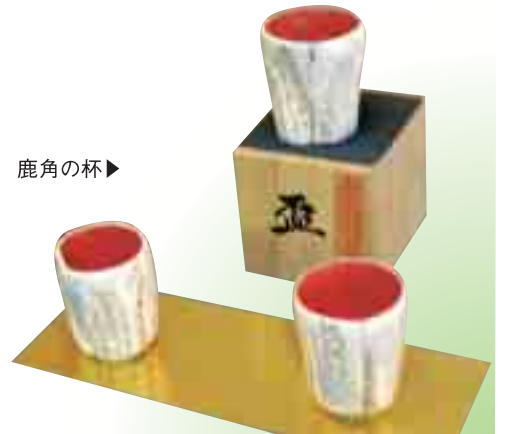
## 奈良の鹿角細工の現況

### 原材料

現在鹿の角細工に使える鹿角はほとんどとれないので各地の野生の鹿や蝦夷鹿を材料にしている。

### 鹿角細工の道具

機械化されていない分昔ながらの道具（つる鋸、鑿、錐等）を使用。



鹿角の杯▶

今回の取材に快く応じていただいたハタリ源角堂・畑里憲雄さん、「私の代で三代目。昭和四十年頃は本当に鹿の角細工もよく売れました。当時は、営業を主に百貨店、奈良のお土産屋さん等受注、販路の拡大に忙しかつたと：」回想されています。

「一昔まえまでは、鹿の角細工の職人さんがかえ手広く商いをされていたが、時代とともに人の嗜好も変わり現在ではごく一握りの鹿角細工のファンの方にささえられ、昔のように量産すりよりも一点一点心をこめて制作して販売することに魅力を感じています。時代は移ろいますが縁あって鹿の角細工の仕事につき、これからも人様に喜んでもらえるよう頑張りたい。」と話されておられました。

## ハタリ源角堂

〒630-8286奈良市東包永町36  
TEL0742-22-6913 FAX0742-22-6919



国宝・転害門より一条通りを西へ200メートル



# MUD

## MEDIA UNIVERSAL DESIGN

### メディアユニバーサルデザインとは

老若男女といった差異や個人のそれぞれの感じ方の如何を問わずに、誰もが安心して利用することのできる施設や製品の設計（デザイン）を目指す「ユニバーサルデザイン（UD）」の思想に基づき、文字と色を専門に取り扱う印刷業界として、「文字の使い方」や「色の使い方」に配慮や工夫を加えることにより、見やすい印刷物を中心とする様々なメディアを提供し、より良い社会環境づくりに貢献することを目的とする考え方です。（「全日本印刷工業組合連合会・全国青年印刷人競技会」より）下記の地図は、当社がUDの思想に基づき作成したものです。

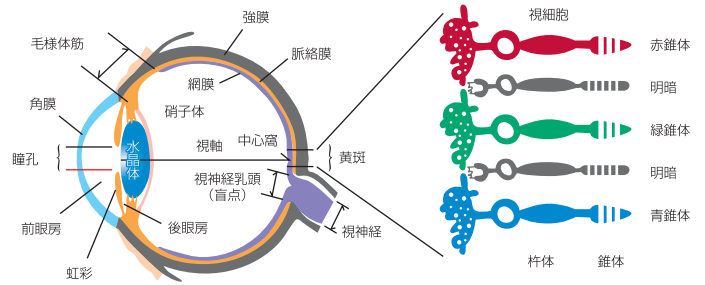


このデザインであれば、色覚障がいの方にも色別しやすく見やすいものになります。



# 色覚に障がいがある人の見え方

	よく使われる配色	一般の人が認識しづらい配色
色覚正常		
第一色盲 赤視物質の欠失		
第二色盲 緑視物質の欠失		
第三色盲 青視物質の欠失		



色覚障がいは第一・第二・第三色覚障がいに分けられます。この第一・第二・第三色覚障がいには、赤・緑・青を感じる視物質のうち、1種類が機能しない「2色型色覚障がい」と、赤・緑・青を感じる視物質の1種類の分光感度がずれてしまっている「3色覚障がい」があります。

色覚障がいの99%は、2色型の第一・第二色覚障がいにあたります。MUDはこの2色型の第一・第二色覚障がいの方々に配慮することでほとんどの色覚障がいに対応することが可能です。

	色覚正常		3色型
第一	色盲・色弱	赤緑色盲	2色型 異常3色型
第二	色覚異常		
第三	色覚障がい	黄青色盲	
	全色盲		1色型

## 見やすくするための工夫

<p>識別しやすい色の組み合わせをする</p>	<p>グラフなどの表示には引だし線を用いる</p>
<p>線の太さや点線などにより判読を容易にする</p> <p>企業の社会的責任の重さを自覚し</p> <p>企業の社会的責任の重さを自覚し</p>	<p>白や黒などセパレーションカラーを利用する</p>
<p>色が接する場合、色の明度差をつける</p>	<p>種別で形を変える</p>

MUDは、文字や配色・デザイン等を色覚障がいのある人にはもちろん、一般の方にも見やすく配慮するというものです。それは、色覚のバリアフリーとも言われています。

色覚障がいの方は、日本人男性の約20人に1人、女性では500人に1人、日本国内で300万人以上います。人口の約1/4の人が何らかの色覚障がいを持っています。これはもう障がいというより、一つの個性として考えられます。視力が悪い人を障がいと認知する人は少ないでしょう。それと同じ考え方ではないでしょうか。また、これからの高齢化にともない、色弱の方は今後さらに増加していくことが予想されます。

そんな中、地方自治体では建築物・印刷物・サイン関連を中心に、条例化・ガイドラインが相次いで制定されています（静岡県・熊本県・千葉県・大阪府等）。新バリアフリー法では、色彩に関することが記載されています。

また、三重県では平成20年4月からUD宣言をし、積極的にUD活動をしていく方針です。その活動の一つとして、すべての人々の社会参加の機会を確保し、自由に行動し、安全で快適に生活できるユニバーサルデザインのまちづくりの理念のもと、共的施設のバリアフリー化、アドバイザー養成講座や県民への普及啓発など、ハード、ソフト両面からの取り組みを行なっています。

MUDを完璧に実現出来る物ではありません。休まず、継続的に改善していくことが必要です。そのためには、今やっていることを常に検証し、そこで学んだことを次に生かしていく姿勢が大切になってきます。

報告

歴史と景観

うつりゆく奈良

# 金堂平成大修理

## 二〇〇九年の金堂落慶に むけてすすむ大修理



井上靖氏の小説「天平の甕」の呼び名で親しまれている「金堂」（国宝）は、平安・鎌倉・江戸・明治時代と過去四回の大修理が行われてきました。

一九九八年には、金堂を含む唐招提寺の伽藍建築が「古都奈良の文化財」のひとつとして世界遺産に登録されました。しかし、一九九五年阪神淡路地方を襲った大地震が金堂の基壇をも揺るがし、調査の結果直ちに修理が必要であるということが明らかになったため、二〇〇〇年より十年間に及ぶ金堂平成大修理事業が始められました。

### 【唐招提寺】

唐招提寺は、中国の高僧・鑑真和尚（六八八―七六三）により創建された律宗の総本山です。聖武天皇の①招聘に呼ばれて来日を決意され、五度の渡海の失敗と度重なる②艱難辛苦のすえ、両目の視力を失いながらも七五三年、渡航を志して以来十二年の歳月を経て、ついに来日を果たされました。この偉業は日本でも中国でも広く知られています。

唐招提寺が創建されたのは和上来日より六年後の天平宝字三年（七五九）故新田部親王の旧邸を賜り、戒律の専修道場としたのが始まりです。境内には金堂、講堂、宝蔵、経蔵（いづれも国宝）をはじめとする伽藍が立ち並んでいます。これらは朝廷や有力者などの寄進により徐々に整えられていったもので、現在でも創建時の姿を伺い知ることができます。中でも、南大門をくぐって正面に佇む金堂は、奈良時代に建立された金堂としての唯一の遺構であり、その堂々たる姿と静謐さをたたえた美観は多くの人々を魅了してきました。

また、天平彫刻などの傑作も数多く安置されており、特に御影堂の鑑真和尚（国宝）は、わが国に現存する最古の寿像です。晩年を迎えた鑑真和尚の、深い精神性までもが感じられ、二百年前と変わらぬその御姿に香薫がただよっています。

① 招聘（しょうへい）

人を丁寧な態度で招くこと。

② 艱難辛苦（かんなんしんく）

困難に出合って、つらく苦しい思いをすること。

③ 静謐（せいひつ）

静かで安らかなこと。世の中が穏やかに治まること。



1998年	4月 10月	金堂修理の為の調査事業着手 国宝唐招提寺金堂保存修理事業専門委員会発足
2000年	1月 9月 12月	金堂修理事業開始 境内に仏像修理所建設 金堂素屋根完成 盧舎那仏・千手観音搬出
2001年	4月	金堂解体調査着手
2003年	3月 12月	盧舎那仏・千手観音保存修理（前期）終了 金堂解体調査終了
2004年	1月	金堂基壇発掘調査
2005年	1月 3月	金堂の組立を開始 立柱式
2006年	7月 11月	薬師如来保存修理着手 金堂上棟式
2007年	9月	金堂組立終了
2008年	8月 9月	金堂素屋根解体完了予定 金堂三尊 堂内へ搬入予定
2009年	秋	金堂平成大修理落慶法要



2005.1 組立の開始。柱を立て始める



2006.11 屋根の骨組となる小屋組の組立て



2007.8 大棟両端に鷗尾が昇る



2006.6 地垂木の取付が完了する



2007.3 野地葺きの上に瓦を葺き上げる



**Waterless** <sup>JWI</sup>  
Printing. Naturally.

# バタフライマーク

**バタフライマークとは**  
水なし印刷協会の認定を受けた会社が「水なし印刷」で制作した印刷物に、このロゴマークを入れることができます。

## 水なし印刷とは

一般に行われている「水あり印刷」は、印刷工程において水（俗に『湿し水』といい、H液やIPAなどの有害物質が含まれています）を使用し、その水が油をはじく性質を利用してインキがつかない部分を作りだしています。


「水なし印刷」は、刷版の版材がインキをはじくという特性を利用してインキのつかない部分を作り出すことから、水を全く使用せずに印刷することができます。

そして、シリコン層現像工程は、回収廃液が発生しない水現象方式ですので、現像液使用量・廃液量も大幅に低減しているのので、環境にやさしい印刷方法といえます。

命  
が吹き込まれる



紙  
が  
でき

 私たちは、平城遷都1300年  
記念事業を応援しています。



本誌は、「FSCミックス認証紙」を使用しています。

